

寿学級の町長と語る会に出席の長北啓一さん（興野3・67歳）は「町民福祉の町政を」



昨年で第二の人生も終え、動めから解放されました。で、これからは友達の輪を広げ、地域のことでも知らなくては、と今年から寿学級に参加しました。7月26日には『町長と語る会』があります。有意義なことと思いますね。この町に住んでいるのですから、町民として町の考えを知ることが権利でもあり、義務でもあると思うのです。町政に対しては、とにかく世の中の動きが速いのですから、時流に取り残されないよう、21世紀に向けた展望をもって町民の福祉のためがんばっていただきたい。ぐずぐずしてられませんよ。

「環境衛生に関心があります」と小熊ヨネさん（七区・写真右）時田スイさん（七区）

保健委員を長年やっているの保健や環境衛生が特に気になります。8号線をつくぐる排水路がひどくきたなくて、しかも地域では掃除もできないので、自治会長や大野町総代を通して町へ要望したのですが……昨秋にやっと掃除してもらいました。要望を言ってもすぐにしてもらえないのが、問題ですね。（小熊さん）でも、気づいたことは小さなことも言っていないと、よくなるのでしょうか？ あとは自分たちでできることは自分たちですること必要。8号線の地下道がきたないから、掃除しなくちゃ…（時田さん）



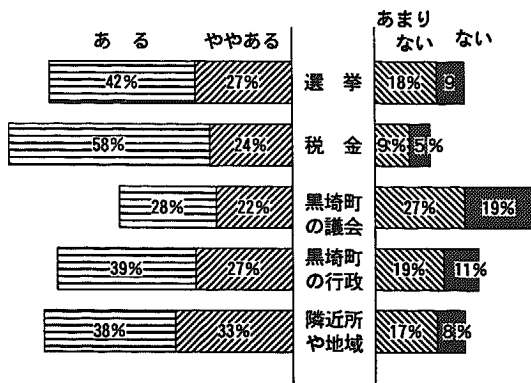
私たちの関心にこ

あなたと町をつなぐ
広報

くまがさき

1990
8
No.323

④次のことに関心がありますか



昨年実施した第5回町民世論調査の結果がまとまり、今月号でその結果をお知らせします。

左のグラフは結果の一つです。税金に対する関心は高いものの、議会や行政に対する関心が今一つのようなようです。税金の使いみちを決めたり、実際に使ったりするのは議会や行政なのですが。

たえる町政を

「教育に関心。子供は地域に育てられるから地域活動にも」と神林啓子さん（寺地南団地）

子供が今、小学1年生。学校へやるのが初めてですから、やはり子供の教育に関心があります。子供は地域に育てられると思っていますから、地域活動も大事と思い、PTAでも役員をやったりしています。今日はPTAで9月にやる講習会の準備です。石と和紙で作る猫の置物の作り方を習って、それを9月の講習会でPTA役員が皆さんにお教えするんです。そう、それから寺地のあたりは割とのかかと思っていたのですが、急に道路ができて都市化が進んでいるようです。歩道などにもっと気を使ってほしいですね。

